



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2006-2007年度RI会長  
ウィリアムB. ボイド



率先しよう  
LEAD THE WAY

2006～07年度 第2590地区ガバナー 齊藤 二郎

会長	小池 将夫	副会長	大西 弘文
副会長	清水 勇一	会長エレクト	吉田 隆男
幹事	渡邊 淳	クラブ会報	植田 清司
副SAA	山田 正憲	会計	舘野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

【クラブテーマ】  
明日の為に・一つの心で



2006-07年度 第44号週報NO.1511  
2007年(平成19年)6月22日第1511回例会記録6月29日発行

**司会** 加藤 仁昭 副幹事

**点鐘** 小池 将夫 会長

**斉唱** 手に手つないで

### ビジター紹介

横浜旭R.C 木村 利夫 君

### 結婚記念日祝

伊東 英紀 会員 (6月24日)

### 会長報告

◎ロータリー財団より清水勇一会員にマルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンが送られてきておりますので、ご報告申し上げます。

### 幹事報告

◎次週6月29日は年度末夜間移動例会となります。  
場所 横浜インターコンチネンタルホテル 点鐘18時  
◎7月よりロータリー為替レートが変更になります。  
現在 1\$=118円 → 変更後 1\$=122円

### 委員会報告

IM 実行委員会 記録委員長 山田 正憲

IMの報告書が出来上がりました。皆様のボックスに入れてございますのでご確認下さい。

なお、当日皆様が各方面の方々をご招待されていますので、その方々にお渡ししたければ事務局に残部100部程用意してありますのでご利用いただければと思います。

### 出席報告

河野 明光 委員

会員総数	65名	(48名+17)名	
出席会員数	47名	(37名+10)名	
出席率	83.33%		
ゲスト	0名	ビジター	1名
前回補正後	85.42%	前々回補正後	97.92%

本日《6月29日》のプログラム

年度末夜間例会  
横浜インターコンチネンタルホテル

点鐘18時

## スマイルボックス

山田 正憲 副SAA

木村利夫君 毎々お世話になります。ありがとうございます。  
小池將夫君 本年度も残すところ、あと1週間です。皆様の一  
年間のご理解ご協力を感謝申し上げます。

渡邊 淳君 久しぶりの雨、なぜか落ちつきます。1年間付き  
合った重いかばんも、今日で手ばなせそうです。

青柳 紀君 小池・渡邊丸、一年間ご苦労様でした。IMの成  
功はクラブ全体の評価です。来年も楽しく充実したクラブライ  
フをしましょう！

石川正三君 小池さん先日はごちそう様でした。

富居利貞君 先日伊東会員に大変お世話になりました。

永井隆俊君 ①小池会長先日はご馳走様でした。女房もよろし  
くとのことでした。

②石川会員お世話になりました。

藤橋恒一郎君 小池・渡邊丸、嵐の中での帰港あと一歩、ご苦  
労様です。

江森国一君 先日の四大奉仕委員会に参加の皆様、ありがと  
うございました。脇田さん、良いお店をご紹介いただきありがと  
うございます。

脇田いすゞ君 四大奉仕の顔合わせ行かれなくて申し訳ありま  
せんでした。

上阪哲也君 天野さん昨日はお世話になりました。

鴻 義久君 ①先日の次年度、四大奉仕委員会の顔合せ会、意  
義ある会になり、吉田、加藤年度の船出が楽しみです。

②加藤さんお世話になりました。

山田正憲君 ようやくIMの報告書が完成しました。ご覧下さ  
い。

6月22日	13件	33,000円
本年度累計額		2,185,000円

## 卓 話

### 「年度末挨拶」

会長 小池 將夫



残すところあと1週間で2006～2007・ロータリー年度が終わ

ろうとしています。この一年間はいろいろな事がありました。  
ありすぎましたと表現しても過言ではないと思っています。

昨年の1月に今年度の会長職を引き受ける事になり、無理に  
お願いをして渡邊会員に幹事職を受けていただきました。二人  
で短い5ヶ月間の準備で年度をスタートさせたわけになります。

今年度の運営の柱となるクラブテーマをクラブの将来を思い  
「あしたの為に、一つの心で」としました。一年間が過ぎた今、  
このテーマにして本当に良かったと思っています。このテーマ  
をこころにクラブ運営に当たってきました。また、このクラブ  
テーマがあったからこそ、私自身が最後まで会長職を勤めるこ  
とが出来たとも思っています。

さて、この一年で「一番大変だった事」それはベテランの事  
務局員の一柳さんのご病気、そして退職をされたことです。年  
度が始まってまもなくの事、横浜港を出港してまもなくの船が  
太平洋に出る前の東京湾航行中に機関トラブルを起こした感じ  
です。ご存じの様に東京湾本船航路は船舶の航行が激しく、交  
通の難所となっているところで、錨泊して修理をし、機関の回  
復を図ることの出来るような場所ではありません。機関長の渡  
邊幹事の必死の努力で補助動力を復活させ、東京湾口を出るこ  
とが出来ました。少し時間がかかりましたがメインエンジンも  
次第に回復、幸いのことにより渡邊事務局員も仕事になれ、事務局  
整備も整いつつあって、現在フルパワーで横浜港に帰港中で、  
すでに着岸の準備体制に入っております。この難関突破は、加  
藤副幹事、江森前幹事を始め、全会員のご理解とご協力があっ  
て実現出来たと思っております。

機関故障の最中に想定外の第4・第5グループ合同の当クラ  
ブが主管するIMの開催がもちあがりましたが、無事開催に漕  
ぎ着けます様に、いや、やる以上は今迄に開催したことのない  
IMを開催しようと当クラブの持前のパワーが湧いていきまし  
た。頭を抱える問題もありましたが、「窮すれば通ず」青柳実  
行委員長、月山運営委員長、河野ディレクター、江森総務委員  
長の推進力と全会員の一致協力により1000名会場でのIMの開  
催成功と、IMのあり方の布石を地区に残すことが出来ました。  
まさに「心が一つになり」成功させた、当クラブの底力からを  
改めて感じました。

IMと同時に進行の形で台湾滬尾 R.C との姉妹締結に向けて  
の準備が今泉国際奉仕委員長はじめ委員会の皆様の地道な努力  
で進んでいきました。すべて順調にとはいきませんでした。3  
月23日に台北で無事調印式と天然記念物の「三春滝桜」の記念  
植樹を済ませることが出来ました。また、RI3520地区の「滬  
尾桜花大道」プロジェクトに協力、2キロの桜並木の中に、当  
クラブの20本の桜が植えられ、記念碑には当クラブの名前が永  
遠に残る形で刻まれています。国際奉仕を交流の柱に加えた新  
しい姉妹関係を締結したわけですので成果はこれからになりま  
す。福島県三春町の協力も得て、苦労の結果締結した姉妹関係  
です。大事にさせていただきたいと心から願っております。

国際奉仕のもう一つの活動「スリランカへの井戸の寄贈」は

反町公園を会場に開催された「神奈川区中央・西部地域まつり」で、盧社会奉仕委員長はじめ多くの会員と会員夫人のご協力で今年度も多額の浄財を得ることが出来、スリランカに4つの井戸を贈ることが出来ました。5月には現地に行って、贈呈式を済ませてきましたが、6年前に眼に焼きついて忘れることの出来なかった子供たちのあの「黒いビー玉」のような眼と人々の感謝に満ちた笑顔に再会し、この活動の成果の素晴らしさを改めて感じました。この事業のもう一つの成果は多くの会員と家族の力をあわせて募金活動を行なったという社会奉仕の一体感を味わっていただけた事だと思います。

事業を中心とした内容ばかりになってしまいましたが、この一年間のクラブの運営に当たっては理事役員をはじめ各委員会の委員長さん、委員会の皆様の絶大なるご協力、会員の皆様の温かいご理解とご協力をいただき、無事、年度末を迎えることが出来ました。3回の家族会を計画いただいた川邊親睦活動委員長さん、増強に努力いただいた天野増強委員長さん、毎週週報を出しつづけた植田会報委員長さん、一年間の卓話者選びで苦勞された角田プログラム委員長さん、そしてクラブ奉仕の各委員長さん、四大奉仕の各委員長さん、本当にご苦勞様でございました。心より感謝を申し上げます。

新しい会員の皆様は、この一年間の活動に参加をされて如何でしたでしょうか。とんでもなく活動の忙しいクラブに入会をしてしまったと思われたのでしょうか。でも、私たち神奈川東R.Cはこれだけのことをやり遂げるパワーと潜在能力を持っているクラブなのです。クラブ会員であることに誇りをもっていたきたいし、今後もロータリアンとしての研鑽を積み重ねていただきたいと思います。そして「明日のために、一つの心で」の本年度クラブテーマを忘れないでいてほしいと思います。

最後になりましたが、ご病気で休会をされている会員の皆様や一柳前事務局員の健康の回復と次年度以降のクラブの発展を祈念して年度末の挨拶とさせていただきます。

## 副会長 大西 弘文



今年度も来週の例会をもって終了することになります。この一年を振り返ってみますと長かった様でもあり、また短くも感じられる一年間であります。

しかしながら、この一年間が終わってみれば、良くぞ皆さんが頑張ってくれたなぁと感謝の気持ちで一杯であります。今年度の初めに小池会長の提唱された「明日（あした）の、為に、一つの心で」というクラブのスローガンは、立派に為し遂げることが出来たのではないかと考えております。

振り返ってみますと、夫々のクラブ奉仕委員会の活動は、年初の活動計画書案に基づいて、全ての行事は滞りなく完結致しました。親睦活動委員会などは、例年一回の家族会を春夏の二度も実施するという期待以上の活躍をした委員会もありました。

また国際奉仕委員会は、前年度に閉ざえた提携クラブを復活すべく、新たに台湾の滬尾ロータリークラブと姉妹クラブを締結致しました。また数年前から継続して支援をしていたスリランカの井戸の建設も、さらに追加して27個も立派に出来上がりました。

またこの一年間のうちに、会員の退会者が5名も出ましたが、入会者がその数を全て埋めることが出来て、会員増強委員の方々には特に感謝を申し上げます。

また、2月10日開催の intercity meeting は我がクラブがホストクラブになりましたが、特に鎌田實先生の素晴らしい記念講演は会場内の多くの人たちに大きな感動を与えることができました。

これらはいずれも夫々のクラブ奉仕委員会のメンバーの熱心な活動の賜物であり、まさに「明日（あした）の為に、一つの心で」の精神で為し遂げた素晴らしい成果ではないでしょうか。

私とは言えば、昨年8月から9月にかけて体調を崩し、1ヶ月半ばかり休んでしまい、皆さんに大変ご迷惑を掛けてしまいました。復帰したあとで各委員会の活動状況を見させていただきましたが、私ごとき者が余計な口出しをする必要もなく、どの委員会とも積極的に活動している状況を拝見し、その素晴らしさを再確認できた一年間であります。

会長が不在の時に代行する例会時の点鐘は、3回ばかりやらせていただきましたが、鐘の叩き具合の加減が分からぬうちに終わった一年であります。

ただひとつこの副会長の席は、非常に孤独な難壇の席で、例会ではビジターのお名前を読み上げるだけで、また一人寂しく昼食を摂るだけであり、例会の1時間は非常に長く感じられました。

最後になりますが、なにつ役にたたなかったこの副会長をフォローして下さった会員の皆さんに感謝を申し上げ、挨拶と致します。有り難うございました。

## 幹事 渡邊 淳

本日は「夏至」でございます。梅雨明けにはまだしばらく時がありますが、ロータリーの2006～2007年度は、一足早く、いよいよカウントダウンとなってまいりました。年度末でございますので、皆様への一年間の感謝の気持ちを込めて、ご挨拶させていただきます。



思いがけずピンチヒッターとして幹事の大役を仰せつかり、心の準備も、スタンバイの時間もないまま、見切り発車でスタートした本年度でありました。

浅学非才、特にロータリー内での経験に乏しい私に、歴史ある当クラブの舵を持たせていただいたことで、皆様にはさぞかしご心配や歯がゆさがおありになったかと存じますが、ベテランの小池船長の下、クラブ会員の皆様の寛容なるご理解とご協力により、一年間の航海のお手伝いを何とか全うすることができたことを、心より厚く御礼申し上げます。

「明日の為に・一つの心で」の年間テーマの下で進めてまいりました、長かった一年間を振り返り、幹事の立場で、印象深かった事柄の内、3つの事について少し触れさせていただきたいと思います。

一つ目は、なんとと言ってもI・M（インターシティ・ミーティング）の成功であります。

「ローコスト・ハイクオリティ」といった高いハードルからスタートした一大事業でありましたが、青柳実行委員長をはじめとする実行委員会の皆様のすばらしい企画と、緻密・入念な準備により、内外より高く評価されるすばらしい結果となりました。鎌田實先生の講演に、多くの方が目に涙して聞き入る姿は、私にとっても忘れられない感動であります。

二つ目は、国際交流の充実であります。

2年越しで実現した台北滬尾ロータリークラブとの姉妹クラブ締結、これには日本の天然記念物である「三春の滝桜」の記念植樹などもあわせて、大規模な事業となりました。今泉国際委員長をはじめ関係各位の熱意あるご尽力に敬意を表します。

さらに、反町公園において実施したチャリティ募金からスリランカ現地における井戸の完成式出席に至るまで、スリランカ支援プロジェクトの充実には、小池会長はじめ多くの皆様の力強い奉仕活動に頭が下がる思いです。

そして年度末には、これらの活動を記した当クラブのホームページを見て、マレーシア・ルーヤンロータリークラブより、次年度会長が来訪され、友好クラブ締結のプロポーズを受けたことは、次年度に新しい夢を引き継ぐ事と、国際交流のますますの発展を大変楽しみに致しております。

三つ目に、忘れられない事柄は、「事務局改革」であります。

年度始めに事務局と倉庫の棚卸を実施しましたが、その後、9月初旬に、事務局員の病欠という、思いも寄らない事態が発生し、その瞬間から、私のテーマは、「事務局改革」以外の選択肢が無くなりました。当初は四面楚歌とも思える状況にありましたが、幸運にもベテランの永井博子さんにピンチヒッターを務めていただき、さらには、月山会員に渡辺幸実さんという優秀な事務局員を紹介いただき、一歩ずつ、事務局機能が回復し始めてきました。事務局は変化せざるを得ず、「変化」を「進化」に変えることが私の新しいテーマとなりました。多くの会員の皆様に様々な形で助けていただき、当クラブの事務局はハード・ソフトの両面から大分進化したと自負しておりますが、まだまだ充分ではありません。クラブ運営の要となる事務局の進化と充実が、クラブの安定と発展の土台となるものと確信し、次年度に、事務局のさらなる進化と充実を託します。

いま述べました3つの事柄以外にも、振り返ると数え切れない思い出と、皆様への感謝の気持ちでいっぱいでございます。幹事としてのクラブ運営に際しまして、ご無礼や失礼なことが多々あったかと思いますが、大先輩を初め、全ての会員の皆様に暖かく応援いただいたことを心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、厳しくも包容力のある小池会長と、優秀かつ爽やかな事務局員の渡辺幸実さんに感謝申し上げ、あわせて、病気療養中の元事務局員、一柳春代さんの早期回復をお祈り申し上げ、私の年度末挨拶とさせていただきます。

一年間大変お世話になりました。

ありがとうございました。

## 会計 館野 典久

会計の館野です。今年度も、大変お世話になりました。事務局の一柳さんが退任され、渡邊さんが新任され、事務局が変わり、大変な一年でした。小池会長、渡邊幹事にはあまり協力できず、ご迷惑をおかけしました。一年間ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

今年度週報の発行も次回発行が最後となりました。スタートより印刷会社の変更等いろいろハプニングの連続で思うように参りませんでしたが、何とかゴール出来そうです。これも皆様のご協力のおかげと感謝しております。1年間ありがとうございました。

そして、制作及び発行に多大な援助協力をいただきました、クラブ会報委員の皆さん、またツルミ印刷様のスタッフの皆さん大変ありがとうございました。

(クラブ会報委員長 植田 清司)

次回《7月6日》の卓話予定  
「新年度挨拶」